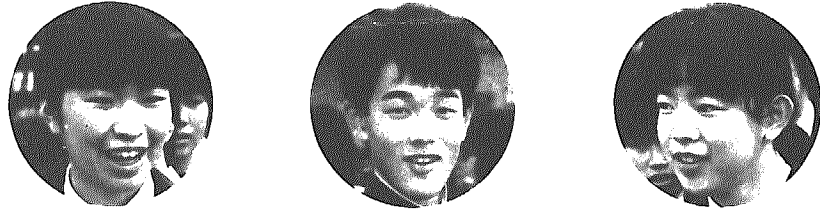
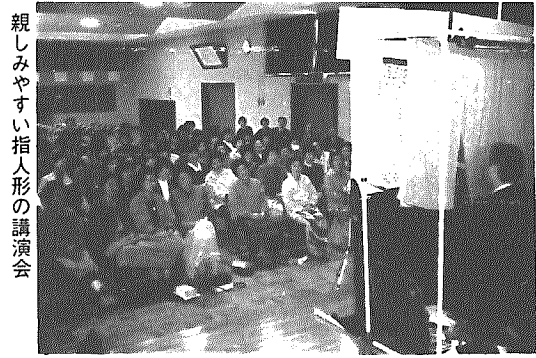


いい顔、ありがとう

岩室中学校卒業式から(3月14日)



●この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課 企画係(☎824-111)内線(二一五)へご連絡ください。写真をさしあげます。



親しみやすい指人形の講演会

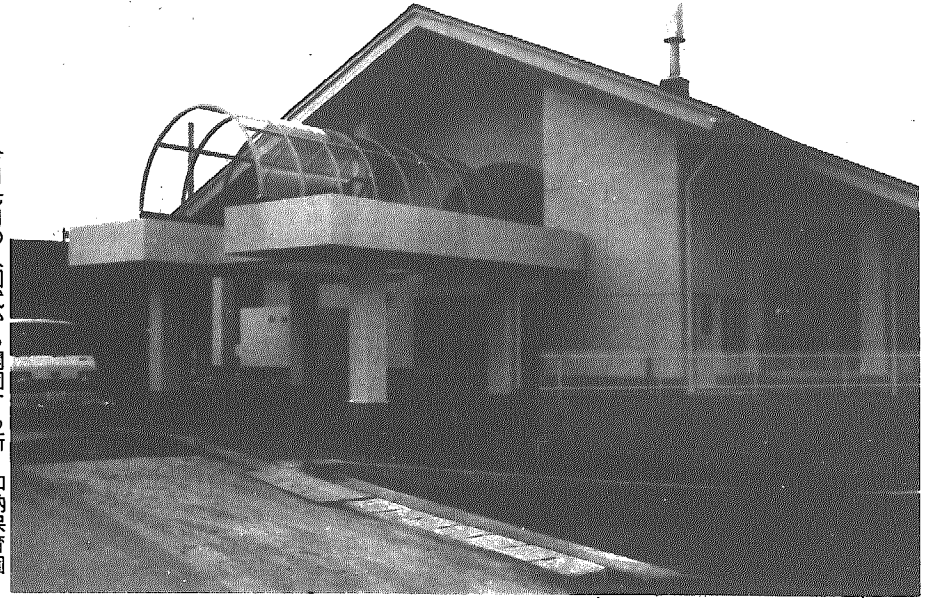
指人形の講演に大爆笑

岩室村婦人会総会

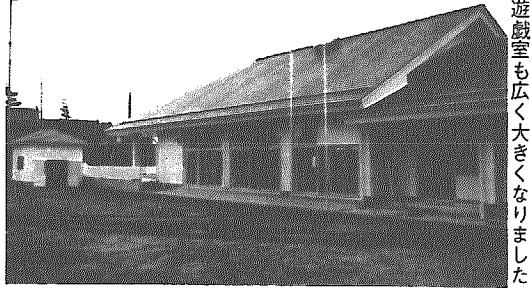
岩室村婦人会の総会が先月八日、約百四十人の会員が参加して公民館で開かれました。総会では、今年度の事業などを決めたほか役員改選も行われ、新会長に渡辺純子さん(桶曾)を、副会長には五十嵐妙子さん(間瀬二区)、本間ケイ子さん(西中)、中村須美子さん(和納六区)らをそれぞれ選びました。また総会後、渡辺豊さん(笹神村)の「ある家庭の中で」と題する指人形を使った講演会も行われ、方言を交えたユニークな語り口調に会場はわいていました。

思いっきり遊べるぞ!

和納保育園が完成



今月七日の入園式から開園する新・和納保育園



遊戯室も広く大きくなりました

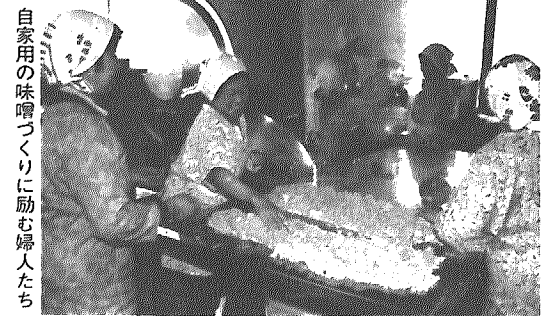
広々とした遊戯室、外光をふんだんに取り入れた保育室、そして、思いっきり遊べる広い園庭。老朽化が著しく、手狭となったために移転新築していた新しい和納保育園が完成しました。鉄筋コンクリート造りの新園舎は、平屋建て延べ1,012平方メートルで、いままでの園舎の約2倍の大きさ。保育室や遊戯室もゆったりとしたスペースで伸び伸びと保育ができそう。また広い廊下も特徴で多目的に利用ができるうえ、コンクリートの冷たい感じを出さないよう左右の壁は違った色彩を配して温かく新鮮な雰囲気を出しています。今月7日の入園式から、いよいよ開園です。

あ

手始めは味噌づくりから

連日盛況 岩室地区婦人の家

村おこしは婦人の手で、と、いま岩室村農協の岩室地区婦人の家で、農協婦人部の人たちが郷土料理のきりあえや味噌作りを精を出しています。これは、昨年の広報九月号でもご紹介した岩室村農協の「ふるさと特産品開発事業」で設置した回転釜や真空パック器などの加工機械を利用して作っているもので、先月十一日には地区の婦人ら二十人余りが手作りの味噌作りに励んでいました。このところ、正月もち真空パックから三月の自家用味噌作りまで「加工場」はフル回転です。今後は地区でとれる転作物を使って、岩室村の特産品づくりを目指したい」とみんさん意欲的です。



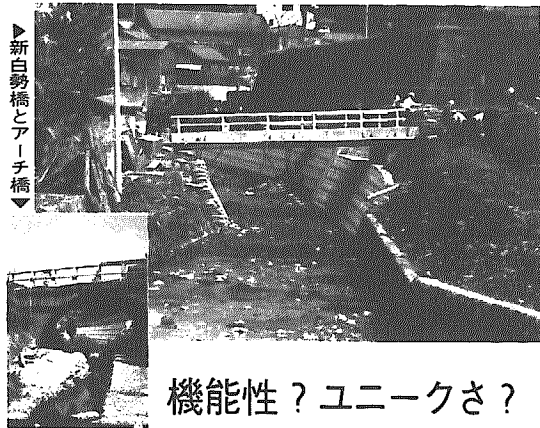
自家用の味噌づくりに励む婦人たち



岩室郵便局長から説明を聞く児童たち

学校とは一味違った「経験」を

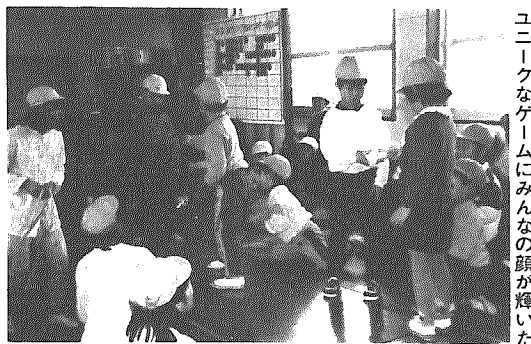
「郵便局の仕事を知ろう」と先月十日、和納小学校の二年生六十一人が社会科の勉強のため岩室郵便局を訪れ、間違いない許されない郵便の区分け作業や局の仕事などを熱心に勉強しました。田巻岩室郵便局長が先生役になり、局内の仕事や郵便事業について説明した後、子供たちからは「郵便局には何台、車があるの」とか「あて名が一字誤っていたり、ぬけていた場合はどうなるんですか」など身近な質問が相次ぎ出されました。「いろいろなことを覚えられて楽しかった」とみんな話していました。



▲新白勢橋とアーチ橋

機能性? ユニークさ?

昨年末から架け替え工事が進められていた間瀬の白勢川に架かる白勢橋がこのほど完成しました。新橋は長さ10.2m、幅4.5mの鉄筋の永久橋。いままでの橋は昨年4月の広報表紙を飾ったアーチ橋。昭和5年の完成で半世紀にわたり地区の人びとの架け橋として活躍してきました。新橋は機能的にはなったものの、何んとなくユニークさがなくなった気がしますね。



ユニークなゲームにみんなの顔が輝いた

最初はグーだよ

「最初はグー、でジャンケンホン」「勝ったよ」。先月十二日、中央保育園では三歳児から六歳児までが一緒に遊んで、子供たちに人気のお楽しみ会を開きました。六つのグループに分かれて得点を競うお楽しみ会は、ジャンケンゲームやパズルなど趣向を凝らしたゲームが続々と登場。特にジャンケンゲームでは、舞台の上で勝った子供が得意そうにポーズをとるなど、みんなとっても楽しそうでした。